



★親子鑑賞教室、絵本読み聞かせ（要申込）

野生動物のすばらしい世界を美しい絵と物語で描いた吉田遠志の絵本。世界中で読まれ、多くの賞を受賞しました。参加者限定で、展示していない絵本原画や作品を特別に鑑賞できます。

日 時：9月16日（月・祝） 10時～12時
参加費：入館料500円が必要（中学生以下は無料）
講 師：北東ラボ（北原まり、伊東典保）
申 込：TEL 0268-62-3700 まで。定員 15 組



★講演：「父・吉田遠志について」
★摺りの実演：木版画《清麗の舞い》（遠志最後の木版画）
吉田遠志の画業を版画家と家族の視点から紹介します。そして多色摺木版画の摺りの過程を実演。世界レベルの技を目の前で見られる貴重な機会です。

日 時：9月29日（日） 13時～15時頃
料 金：入館料500円（中学生以下は無料）
講 師：吉田 司（吉田版画アカデミー代表、版画家、遠志五男）
沼辺伸吉（沼辺木版代表、吉田遠志専属摺師）
申込不要：先着 100 名程度まで

★スケッチ大会&アートチャレンジ 2024(要申込)

かわいい動物たちの絵を描いてあげよう！ 大学生、高校生や有志、企業による楽しいワークショップもたくさんあるよ。

日 時：10月12日（土） 10時～15時頃
会 場：芸術むら公園（東御市八重原）
料 金：無料
備 考：詳細、申込はHPをご覧ください。
当日は火のアートフェスティバルも同時開催。



★ギャラリートーク「吉田博から吉田遠志へ：父から子へ」

10月14日（月・祝） 13:30～ 予約不要 入館料が必要です。（担当：当館館長）

★やえはら人形 動物や家族をつくろう！（要申込）

大切な家族、ペットまたは遠志作品をモデルにして人形をつくりましょう。石塑粘土を使うので、小さいお子様でも気軽に参加可能！ 制作と着色の2回の参加で完成です！

日 時：制作 11月9日（土） 10時～12時（当館で保管）
着色 11月16日（土） 10時～12時
参加費：高校生以上 1,500円、中学生以下 1,000円（入館料含）
講 師：神崎遥香（工芸作家） 申 込：TEL 0268-62-3700 まで。定員 15 名



★貴重映像の上映 & ミュージアムショップ

1966年に吉田遠志が制作した映画『日本の木版画』は常時上映。吉田遠志の初図録や、吉田遠志の版画を網羅した作品集、絵葉書のほか、吉田遠志の作品や吉田版画アカデミー会員の珠玉の作品などを販売。



★吉田遠志の絵本朗読 & Special コンサート「自然、生命、平和」

吉田遠志が作品に込めた思いは、「平和」「共存」。アフリカの大地を描いた吉田遠志の作品を大画面に投影しながら、絵本の朗読、作品にちなんだ音楽をお楽しみください。

日 時：10月26日（土） 14時開演 ※未就学児童同伴の方は母子室をご利用できます。
料 金：入館料500円（当日の入館券がチケットになります）
出 演：朗読 / 上原真奈美、BGM/ 吉田清子（hp） 演目 / 『はじめてのかり』など
演奏 / 村上 藍（pf）、菅野朝子（vn）、田中美恵子（va）、井尻兼人（vc）、小林好夫（tp/cn）
♪ We are the world, Africa, ライオンキングのテーマ、四季、象（動物の謝肉祭より）

★ワークショップ 本格木版画に挑戦！ X'masカードや年賀状に！（要申込）

ハガキサイズの単色もしくは2色刷りの作品を1点仕上げます。①下絵を仕上げる（版下を作る）、②版下を版木に写し取る（転写する）、③版木を彫る、④版木を摺る の手順で進めます。はがきサイズの下絵（ラフスケッチで結構です）は描いてきて下さい。出来上がった版木、作品はお持ち帰りいただき、ご自宅で増刷してください。必要な材料や道具等は準備しますのでお気軽にご参加下さい。

日 時：11月9日（土） 10時～16時頃
参加費：3,000円（入館料込、中学生は2,500円） ※対象は中学生以上です
講 師：杉山 修（吉田版画アカデミー会員）
申 込：TEL 0268-62-3700 まで。定員 10 名



丸山晚霞記念館 〒389-0515 長野県東御市常田 505-1 東御市文化会館併設 TEL 0268-62-3700
■開館時間：9時～17時（最終入館は16:30） ■入館料：500円（高校生以上） 団体、身障者割引あり
■休館日：9月17、24、25、30日 10月7、15、21、22、23、28日 11月5、11、18、25、26日

- 上信越道東部湯の丸ICから2分
- しなの鉄道「田中」駅下車徒歩15分



東御市発足20周年記念

吉田遠志展

—私たちは見つめられている—

Yoshida Toshi: The earth is watching you.

キリマンジャロ スペシャルエディション 1984 木版画

人間の混沌とした社会よりも
動物の世界が優位に立つと
信じている
強く言いたいのは
動物はもっと気高いということ
水場を譲り合って憩い
共存する動物たちにくらべ
虐殺や戦争をくりかえす
なんと愚かな人間
画家の目は自然の側におかれ
アフリカの大草原で見た
動物たちの咆哮
長野で制作した世界最大の
多色摺木版を含む
油彩、木版画約200点
吉田遠志 初の回顧展

2024
第一部 9.14(土)～10.20(日)
第二部 10.24(木)～12.1(日)

作品を入れ替えます。休館日にご注意ください。裏面参照



主催：東御市、丸山晚霞記念館 共催：信濃毎日新聞社 助成：地域の芸術環境づくり助成事業
協力：府中市美術館、吉田版画アカデミー、吉田家、東御市立図書館 後援：太平洋美術会、日本版画協会





雷鳥 1925 木版画



新宿 1938 木版画



石山寺 1946 木版画



Lost World 1964 木版画



Floating 1957 木版画



Joy 1960 木版画



コロラド州ヴェール 1966 木版画

長い沈黙から目覚め、いよいよ光を浴びる吉田遠志。
世界に誇る、第一級の画業を見逃すことなかれ。



東御市発足20周年記念

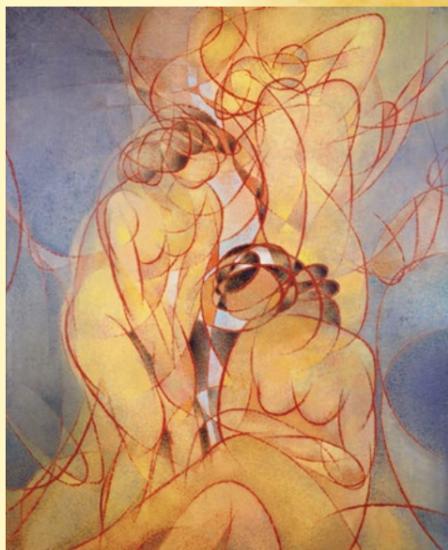
吉田遠志展

— 私たちは見つめられている —

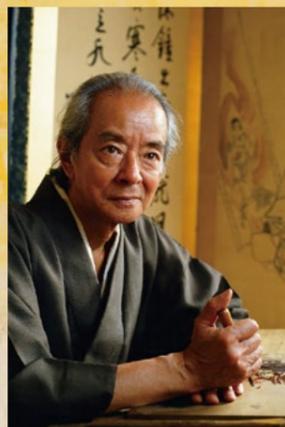
Yoshida Toshi: The earth is watching you.



Whirlpool 1949 油彩



Three Women 1949 油彩



吉田遠志 (1911 ~ 1995) と本展について

丸山晩霞の盟友で明治の天才画家・吉田博と女流画家の先駆け・ふじをの長男。弟夫妻は版画家・吉田穂高と千鶴子、五男の司、姪の亜世美も版画家という吉田ファミリーの戦後の家長。幼少期に下肢に障がいを負い、室内や動物園で絵を描いて過ごすことが多かった。父博の工房に弟子入りして伝統を継承するが、新しい時代の中で父との確執も生じ、それを超えて独自の世界観へ入っていく。全米で木版画の講習、実演を行い、高い評価と実績を築くとともに、アジア、欧米、南米、豪州、南極、アフリカと世界中を巡り取材、晩年はアフリカの野生動物の生態に心を打たれ、多くの作品を制作、それは『動物絵本シリーズ』へと昇華し世界中で愛された。亡くなるまで「平和と共存」の大切さを伝えつづけた。

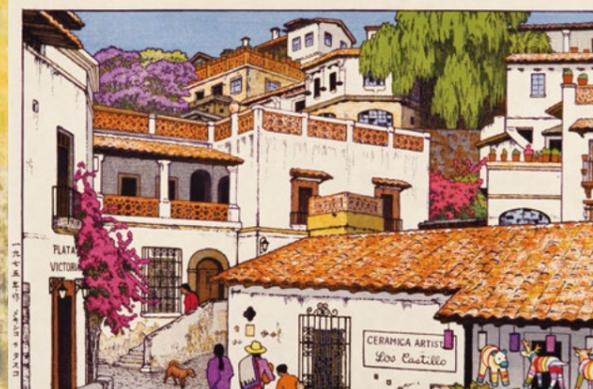
これまで、吉田ファミリー展など、系譜の一人として紹介されるのみであったが、今回は日本初の吉田遠志の回顧展。初期の油彩はもちろん、木版画は全時代からピックアップ。長野県美麻村（現大町市）で制作した、世界最大の多色刷り木版画（1.5×2.1m）の《最良の日》、《飛び立つ》も特別展示。会期中に作品を入替えて、二部制で開催します。※会期中、丸山晩霞作品の展示はごく少数です。



ゼントウペンギン 1977 木版画



モニュメントヴァレー 1971 木版画



メキシコのタスコ 1975 木版画



思いのほか平和な野生同粒たち 1974 木版画



時速115キロ 1983 木版画



丹頂鶴 1988 木版画